

I-1 平成 28 年度 (2015-2016 期) 事業報告

「公演サポートシステムモデル構築事業」を核として、芸術家・団体の活動環境に近い場での事業を開始した。また、「ヘルスケア助成プログラム」5人目となる対象者のサポート期間となり、具体的な怪我への対応を実施、共有することも含め、これまでのセミナー型事業から、現場でのケア支援型へ舵をきった変化の1年となった。

本 NPO 法人が今期行った主な事業は次の通り。

(1) 教育事業

① 芸術家向けセミナー

a. 「アーティストのためのアレクサンダーテクニーク」

日 時：2月24日・3月2日・9日 グループセッション&個別 各3回

会 場：芸能花伝舎（東京都新宿区）

対 象：芸術家・芸術指導者

参加者数：のべ 25名

b. 「舞台裏のトレーナーが伝えたいこと～コンディショニングと応急処置」

日 時：9月17日（土）

会 場：芸能花伝舎（東京都新宿区）

対 象：ダンサー、ダンス指導者、制作者等

参加者数：25名

② 医療関係者・治療師・トレーナー等ヘルスケア専門家向けプログラム

a. 「公演帯同“トレーナーミーティング”」

日 時：3月26日（土）

会 場：芸能花伝舎（東京都新宿区）

対 象：ダンサーのケアに従事する医療者、トレーナー等

参加者数：24名

b. 「芸術家のヘルスケア視察ツアー」

日 時：7月9日（土）～15日（土）

会 場：トロント、ニューヨーク 視察先 11か所（オプション含む）

対 象：芸術家のケアに携わる医療者・トレーナー・スタジオ経営者

参加者数：8名（+通訳・コーディネーターとして会員2名同行）

③ 他団体協力・出張講師等

a. 東京シティ・バレエ団 全国バレエコンクール「スペシャルワークショップ」2コマ提供

日 時：8月22日（月）13:00-14:30 15:00-16:30

会 場：東京シティ・バレエ団スタジオ（東京都江東区）

内 容：講義「バレエダンサーだからこそ大切な“体力”とは？」

講師：水村真由美

実技「ダンサーとしての体力チェックとトレーニング」

講師：ラジカスキー万由子

参加者：のべ24名

(2) ヘルスケア支援事業

① 公演サポートシステムモデル構築事業－ダンサーサポート 3バレエ団

合計118名利用

メディカルチェック 6回

ワークショップ 3回

スタジオ・稽古場でのケア 85日（旅公演含む）

- ② 公演サポートシステムモデル構築事業－「公演救急ガイド」作成&頒布
80部頒布
WEB公開

③ ヘルスケア助成プログラム

- a. サポートプログラム実施 2015年9月～2016年6月
パーソナルトレーニング
食事栄養セミナー&個別カウンセリング、メールサポート
アレクサンダーテクニークグループセッション&個別セッション
体力測定（経過測定）
ドクターアドヴァイス
- b. 支援者公演鑑賞招待 2016年7月9.10日
- c. 報告会開催 2016年9月1日 参加者15名

- ④ 医師・治療師・インストラクター等会員情報公開（随時更新）

- ⑤ 個別相談窓口開設

(3) 調査研究支援事業

- ① (2)-①のダンサーサポートのメディカルチェックデータを集計、集約。

(4) 普及啓発事業

- ① 啓発記事 Web 発信

名称：「実践！芸術家のくすり箱」

時期：2015年11月～2016年9月

内容：・インタビュー3本（アーティスト1名、公演サポート対象ダンサー2団体）
・知っておきたいキホンのキ 2本（「医療費控除」「健康診断」）

- ② メルマガ発行 会員向け月1回（会員向け公演招待情報含む）、一般向け 不定期

(5) 組織運営

- ① 会議開催

第9回定時総会	11月30日	慶応義塾大学（東京都港区）
第51回（臨時）理事会	1月22日	芸能花伝舎（東京都新宿区）
第52回理事会	6月17日	芸能花伝舎（東京都新宿区）
第53回理事会	9月23日	芸能花伝舎（東京都新宿区）

- ② 会員数（2016年9月30日現在）

正会員	21名
アーティスト会員（個人）	59名
アーティスト会員（団体）	2団体
プロフェッショナル会員	88名
賛助会員（個人）	8名
賛助会員（団体）	5団体5口
合計	183名・団体

- ③ 商標登録更新

「芸術家のくすり箱」（2016年9月より5年間）

本更新時に、初代表福井恵子氏より特定非営利活動法人芸術家のくすり箱へ商標権譲渡

以上